

CS

CODE AND SPECIFICATIONS SHEET

インテリジェント差圧伝送器 EDR-N7,EDR-N7E 形



EDR-N7 形差圧伝送器は半導体センサとマイクロコンピュータを内蔵し、測定差圧を高精度の DC 4～20mA 信号に変換します。

気体・液体・スチームなど各種プロセス流体の流量やレベル(水位)、圧力を測定するのに適しています。また、防爆エリアなどさまざまな設置環境にも対応します。

また、半導体複合センサの採用により、圧力の測定・通信出力が可能です。

標準仕様

形 式 EDR-N7 形, EDR-N7E 形(高精度タイプ)

差 圧 範 囲

●EDR-N7 形

基準レンジ	測定スパン	レンジ設定範囲
800	0.8～8kPa	-8 ≤ LRV ≤ 8kPa, -8 ≤ URV ≤ 8kPa
8000	0.8～80kPa	-80 ≤ LRV ≤ 80kPa, -80 ≤ URV ≤ 80kPa
40000	20～400kPa	-400 ≤ LRV ≤ 400kPa, -400 ≤ URV ≤ 400kPa
100000	100～1000kPa	-1000 ≤ LRV ≤ 1000kPa, -1000 ≤ URV ≤ 1000kPa

●EDR-N7E 形

基準レンジ	測定スパン	レンジ設定範囲
800	0.098～8kPa	-8 ≤ LRV ≤ 8kPa, -8 ≤ URV ≤ 8kPa
8000	0.8～80kPa	-80 ≤ LRV ≤ 80kPa, -80 ≤ URV ≤ 80kPa
40000	20～400kPa	-400 ≤ LRV ≤ 400kPa, -400 ≤ URV ≤ 400kPa

注) URV とは 100%(DC 20mA)を出力させる入力差圧

LRV とは 0%(DC 4mA)を出力させる入力差圧

出 力 信 号 DC 4～20mA

電 源 電 圧 DC 11.4～42.0V

許 容 負 荷 抵 抗 600Ω(電源電圧 DC 24V のとき)

通信ライン条件

電 源 電 圧 DC 16.7～42.0V

負 荷 抵 抗 250Ω～1.2kΩ

電源電圧と負荷抵抗の関係は図 1 を参照ください。

精 度

●EDR-N7 形

基準レンジ	精 度
800	±0.2% X は 3.2kPa 以上 ±[0.05+(0.15×3.2/X)]% X は 3.2kPa 未満
8000	±0.2% X は 8kPa 以上 ±[0.1+(0.1×8/X)]% X は 8kPa 未満
40000	±0.2% X は 40kPa 以上 ±[0.1+(0.1×40/X)]% X は 40kPa 未満
100000	±0.2%

●EDR-N7E 形

基準レンジ	精 度
800	±0.2% X は 1kPa 以上 ±[0.05+(0.15×1/X)]%または±1.96Pa の大きい方 X は 1kPa 未満
8000	±0.1% X は 8kPa 以上 ±[0.05+(0.05×8/X)]% X は 8kPa 未満
40000	±0.1% X は 40kPa 以上 ±[0.05+(0.05×40/X)]% X は 40kPa 未満

注 1) 精度は X に対するパーセントで、X は URV、LRV の絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位は kPa。

注 2) 開平出力のとき

ゼロカット指定有

出力 1.1%以下: ±(リニア出力精度×45)%

出力 1.1～50%: ±(リニア出力精度×50/開平出力%)%

出力 50%以上 :リニア出力と同じ

※DCR 形コミュニケータで、ゼロカット点以下の出力をゼロにするかゼロカット点を任意の直線にできるかを選択できます。

ゼロカット指定なし

出力 20%以下は 0-20%点の直線となります。

出力 20%以上は上記のゼロカット指定有の場合と同じです。

ゼ ロ 点 調 整 外部より調整可能

調整範囲は測定スパンの±100%

異常時のバーン

アウト バーンアップ、バーンダウン、バーンアウトなしのいずれかを選択可能

む だ 時 間 約 0.4s

ダンピング時定数 電氣的に 0.2～102.4s(0.1s ステップ)を

(増幅部時定数) DCR 形コミュニケータにより設定できます。

受圧部時定数

基準レンジ	時定数(25℃のとき)
	受圧部
800	約 0.7s
8000	約 0.2s
40000	約 0.1s
100000	約 0.1s

- ・伝感器時定数は、受圧部時定数とダンピング時定数(増幅部時定数)とむだ時間の加算値となります。
- ・圧力脈動が予想される場合は、固定電気ダンパ(約1s)をご指定ください(コード:Z25)。また、同時に内径φ1のキャピラリチューブ(長さ:1m以上)を入れることを推奨致します。

保存温度範囲

-40～85℃

使用湿度範囲

5～100%RH

使用温度範囲

周囲温度範囲
-20～85℃(図2を参照ください。)
(基準レンジ100000は-10～60℃)

接液温度範囲
-20～120℃
(基準レンジ100000は-10～100℃)

最大使用圧力

基準レンジ	最大使用圧力
800	5MPa
8000	15MPa
40000	15MPa
100000	10MPa

注)負圧の場合は図3,4を参照ください。

使用場所の振動

連続振動 29.4m/s²以下

温度特性

(-20～60℃のとき)

●EDR-N7形

基準レンジ	温度特性	
800	ゼロシフト ± [0.05+(0.45×T/30)]%	Xは3.2kPa以上
	± [0.05+(0.25+0.2×3.2/X)×T/30]%	Xは3.2kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.65×T/30)]%	Xは3.2kPa以上
	± [0.05+(0.35+0.3×3.2/X)×T/30]%	Xは3.2kPa未満
8000	ゼロシフト ± [0.05+(0.3×T/50)]%	Xは32kPa以上
	± [0.05+(0.15+0.15×32/X)×T/50]%	Xは32kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.55×T/50)]%	Xは32kPa以上
	± [0.05+(0.4+0.15×32/X)×T/50]%	Xは32kPa未満
40000	ゼロシフト ± [0.05+(0.3×T/50)]%	Xは160kPa以上
	± [0.05+(0.15+0.15×160/X)×T/50]%	Xは160kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.55×T/50)]%	Xは160kPa以上
	± [0.05+(0.4+0.15×160/X)×T/50]%	Xは160kPa未満
100000	ゼロシフト ± [0.05+(0.3×T/50)]%	Xは400kPa以上
	± [0.05+(0.15+0.15×400/X)×T/50]%	Xは400kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.55×T/50)]%	Xは400kPa以上
	± [0.05+(0.4+0.15×400/X)×T/50]%	Xは400kPa未満

●EDR-N7E形

基準レンジ	温度特性	
800	ゼロシフト ± [0.05+(0.45×T/50)]%	Xは3.2kPa以上
	± [0.05+(0.25+0.2×3.2/X)×T/50]%	Xは3.2kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.75×T/50)]%	Xは3.2kPa以上
	± [0.05+(0.45+0.3×3.2/X)×T/50]%	Xは3.2kPa未満
8000	ゼロシフト ± [0.05+(0.2×T/50)]%	Xは32kPa以上
	± [0.05+(0.15+0.05×32/X)×T/50]%	Xは32kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.45×T/50)]%	Xは32kPa以上
	± [0.05+(0.4+0.05×32/X)×T/50]%	Xは32kPa未満
40000	ゼロシフト ± [0.05+(0.2×T/50)]%	Xは160kPa以上
	± [0.05+(0.15+0.05×160/X)×T/50]%	Xは160kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.45×T/50)]%	Xは160kPa以上
	± [0.05+(0.4+0.05×160/X)×T/50]%	Xは160kPa未満

注) 温度特性はXに対するパーセントで、XはURV,LRVの絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位はkPa。
Tは温度変化幅(℃)。

静圧特性 (25℃のとき)

●EDR-N7形

基準レンジ	静圧特性	
800	ゼロシフト ± [0.05+(0.25×8/X×P/3)]%	
8000	ゼロシフト ± [0.05+(0.1×P/10)]%	Xは40kPa以上
	± [0.05+(0.1×40/X)×P/10]%	Xは40kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(1.95+0.1×80/X)×P/10]%	
40000	ゼロシフト ± [0.05+(0.1×P/10)]%	Xは200kPa以上
	± [0.05+(0.1×200/X)×P/10]%	Xは200kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(1.45+0.1×400/X)×P/10]%	
100000	ゼロシフト ± [0.05+(0.1×P/10)]%	Xは500kPa以上
	± [0.05+(0.1×500/X)×P/10]%	Xは500kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(1.45+0.1×1000/X)×P/10]%	

●EDR-N7E形

基準レンジ	静圧特性	
800	ゼロシフト ± [0.05+(0.1×8/X×P/5)]%	
8000	ゼロシフト ± [0.05+(0.05×P/10)]%	Xは40kPa以上
	± [0.05+(0.05×40/X)×P/10]%	Xは40kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.3+0.1×80/X)×P/10]%	
40000	ゼロシフト ± [0.05+(0.05×P/10)]%	Xは200kPa以上
	± [0.05+(0.05×200/X)×P/10]%	Xは200kPa未満
	総合シフト ± [0.05+(0.3+0.1×400/X)×P/10]%	

注) 静圧特性はXに対するパーセントで、XはURV,LRVの絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位はkPa。
Pは静圧値で単位はMPa。

過大圧特性 ±0.5% (最大使用圧力印加時のゼロシフト) (最大スパンのとき)

材 質

ダイアフラム ハステロイ C
(ダイアフラム材質は、耐食性や水素透過
などを考慮し選定ください。)

ダイアフラム SUS316
以外の接液部
増幅部ケース アルミニウム合金
取 付 板 SPCC (耐酸塗装)
U ボ ル ト SUS304
封 入 液 シリコンオイル
差 圧 導 入 口 上側導入口 Rc1/4 オールフランジなし
配 線 接 続 口 G1/2
チ ェ ッ ク 端 子 出力チェック端子付
 (出力電圧 DC 40～200mV)
 保護等級 JIS C 0920 IP67
 電源入力回路に内蔵
 サージ耐量:1,000A (8/20 μ s)
 衝撃試験電圧: 15,000V (1.2/50 μ s)
 ライトグレー (耐酸塗装)
 約 3.3kg
 50A パイプ等に U ボルトで取り付けます。
 50A パイプ取付板、Uボルト 1 式
 ゼロ点調整用マグネット

構 造
サージアブソーバ

塗 色
質 量
取 付 け
付 属 品

付加仕様

通 信 方 式 HART 通信
圧 力 測 定 (絶対圧)
出 力 方 式 DCR 形コミュニケーションおよび内蔵指示
 計による表示。
 (専用ディストリビュータEDB500MA形でア
 ナログ[DC 1～5V]出力可能)

測 定 ス パ ン 0.5～5MPa abs.
精 度 $\pm 0.2\%$ X は 1MPa 以上
 $\pm 0.2 \times (1/X)\%$ X は 1MPa 未満

温 度 特 性
ゼロシフト $\pm [0.05 + (1.0 \times T/50)]\%$ X は 2MPa 以上
 $\pm [0.05 + (0.5 + 0.5 \times 2/X) \times T/50]\%$ X は 2MPa 未満
 $\pm [0.05 + (2.5 \times T/50)]\%$ X は 2MPa 以上
 $\pm [0.05 + (2.0 + 0.5 \times 2/X) \times T/50]\%$ X は 2MPa 未満

注) 精度、温度特性はXに対するパーセント
で、XはURV、LRVの絶対値または測定
スパンの最も大きい値。単位はMPa。T
は温度変化幅(℃)。

構 造

耐圧油入防爆形 防爆規格 ExdO II CT4X

第1類危険箇所、第2類危険箇所で使用で
きます。
指示計なしの場合は伝送器の出力信号の
振り切れを利用した警報表示システムを外
部に構築してください。
周囲温度範囲:-20～55℃
接液温度範囲:-20～100℃

FM 防爆形 Explosionproof CLI, DIV 1, GPS B, C&D
Dust-ignitionproof CL II / III, GPS E, F&G
Temperature Code T4
NEMA 4X
周囲温度範囲:-40～60℃
接液温度範囲:-40～120℃
デジタル指示計 4.5 桁表示
(コード M: 0～100%目盛、コード MJ(): 実目
盛表示、() 内に目盛・単位をご指定くださ
い。また、DCR 形コミュニケーションにより
-17,500～17,500 の範囲で任意目盛に設定
可能です。)
差圧と圧力の交互表示、および圧力の任意
目盛設定(-1,750～1,750 の範囲)も DCR
形コミュニケーションにより可能です。圧力表示
の場合は、数値の最後に P を表示し、差圧
表示と区別します。(表示例は、図 7 を参照
ください。)
動作周囲温度:-20～85℃
実目盛用単位貼銘板が付属されます。

接液部材質種類

ダイアフラム	接液部
SUS316L	SUS316
SUS316L	SUS316L
ハステロイ C	SUS316L
ハステロイ C	ハステロイ C
ハステロイ C	硬質塩化ビニール
タンタル	SUS316
タンタル	SUS316L
タンタル	タンタル
タンタル	硬質塩化ビニール
SUS316L+金めっき	SUS316

※ 材質は耐食性を考慮して選定してくださ
い。また、測定流体に水素が存在する場
合はダイアフラムを通して水素透過が起こ
ることがあります。耐食性に問題のないと
きは水素透過量の少ないSUS316Lまたは
SUS316L+金めっきを推奨いたします。(た
だし、SUS316L+金めっきダイアフラムでも
水素透過を完全に防ぐことは困難です。)
注) 差圧導入口、最高使用圧力、使用温度
範囲は下表の通りになります。

接液部材質	差圧導入口	使用最高圧力	周囲・接液温度
ハステロイ C	Rc1/4 側面取出し	標準品の 1/2	標準品と同じ
タンタル			
硬質塩化ビニール			
		1MPa	-10～60℃

封 入 液

ふっ素オイル

接液温度範囲: -20~120℃
(負圧の場合は図 5 を参照ください。)
酸素測定用の場合は禁油仕上げも併せて
ご指定ください。

サニタリ用
シリコンオイル

接液温度範囲: -20~120℃
(負圧の場合は図 6 を参照ください。)

接液部仕上げ 差圧導入口

(オーバルフランジ付)

リブレース金具

禁油仕上げ または 禁油禁水仕上げ
Rc1/2、Rc1/4、1/2NPT、1/4NPT、
15A ソケット溶接(ソケットねじ込み形)
日立製旧形伝送器更新用の取付金具を付
属(詳細は CS・3253-496 を参照ください。)
本体に取り付けます。
(接液温度が 120℃以下になるようにスチー
ム温度を設定してください。ただし、防爆形
は 100℃以下。)

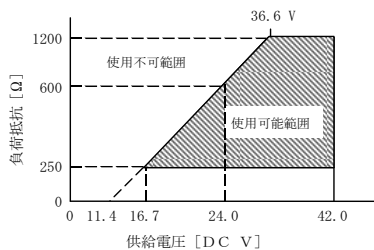
スチーム ジャケット

ドレンベント プラグ

接液条件

真 空 用

接液温度範囲: -20~120℃
封入液は標準仕様と同一
(温度により使用可能圧力が異なります。
図 3,4 をご確認の上ご使用ください。)



コミュニケーターを接続して通信を行うために最低
250 Ω の負荷抵抗が必要です。

図 1 供給電源電圧/負荷抵抗特性

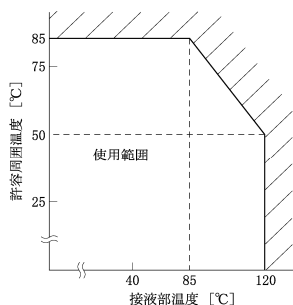


図 2 接液部温度と許容周囲温度

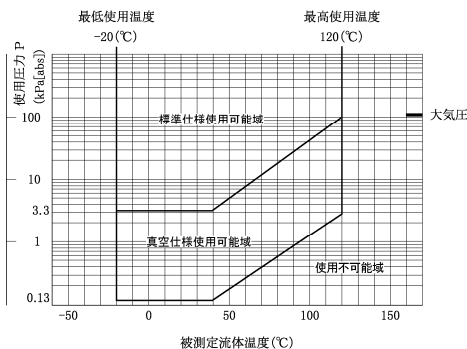


図3 使用圧力と接液温度
(標準・真空仕様:基準レンジ 100000 以外)

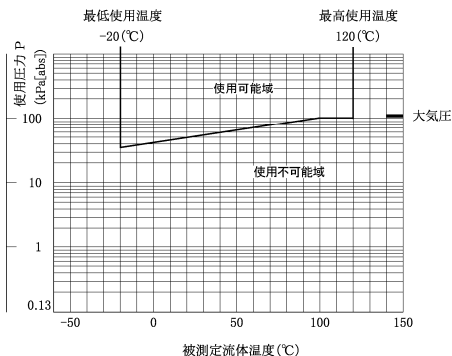


図6 使用圧力と接液温度
(封入液:サニタリ用シリコンオイル)

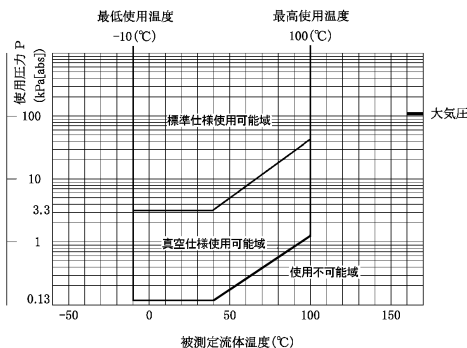


図4 使用圧力と接液温度
(標準・真空仕様:基準レンジ 100000)

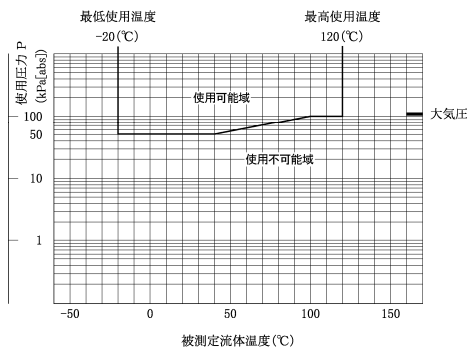


図5 使用圧力と接液温度
(封入液:ふっ素オイル)

差圧の表示(実目盛設定 0.00~125.00kPa)



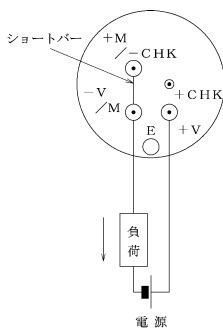
圧力の表示(実目盛設定 0.00~5.00MPa abs.)



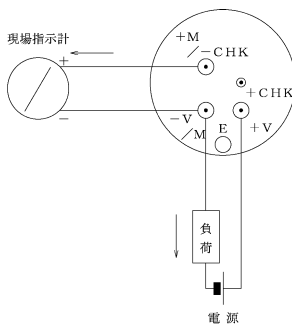
- 注1) 圧力の表示の場合、末尾にPが付与されます。
 注2) バーグラフは、現在表示している差圧または圧力のスパンの百分率を 10%単位(1の位を四捨五入)で表示します。
 ※LCD の表示は、差圧のみ／差圧と圧力の交互表示、のどちらかを DCR 形コミュニケーションータで設定することができます。

図7 差圧と圧力の LCD 表示例

現場指示計なしの場合



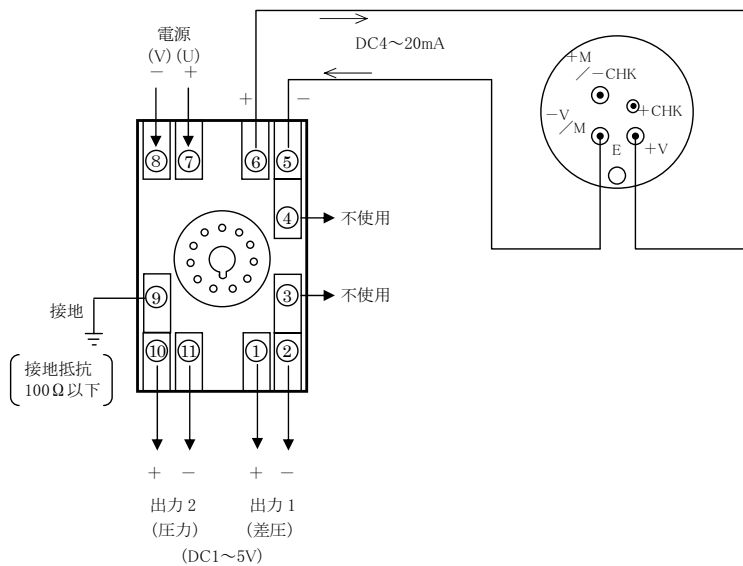
現場指示計と接続の場合



- 注 1) 接地は D 種接地工事(接地抵抗 100 Ω 以下)を行ってください。
 注 2) 接地は伝送器側または受信計器側のどちらか一方で行ってください。
 2 点接地にならぬようご注意ください。
 注 3) 伝送器側の接地端子は端子箱の内側と増幅器ケース外側にあります。
 どちらの端子をご使用になっても構いません。

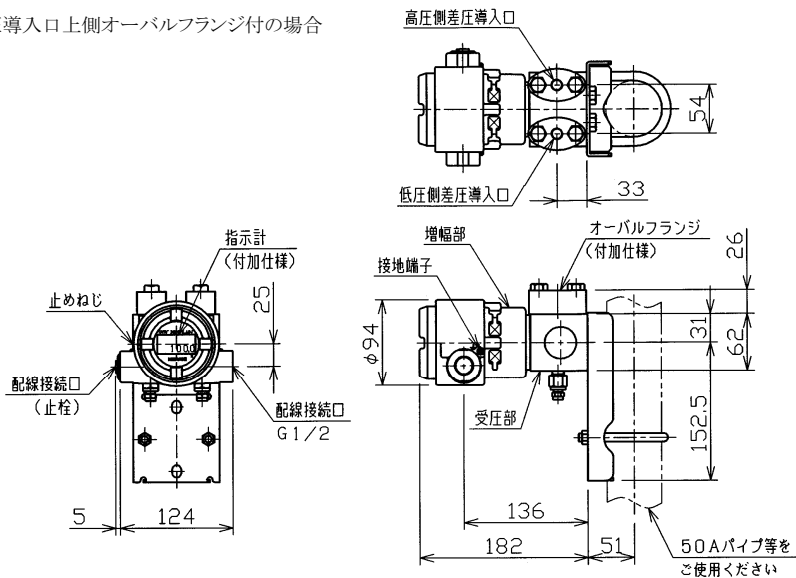
EDB500MA 形と接続する場合

**EDB500MA 形
複合変換器**

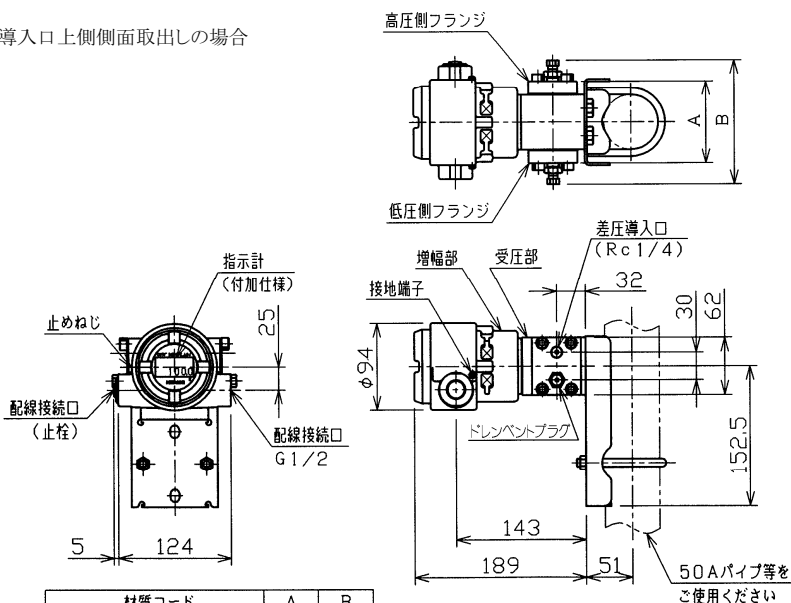


寸法図（単位：mm）

差圧導入口上側オーバルフランジ付の場合



差圧導入口上側側面取出しの場合



材質コード	A	B
HC, TAの場合	90	142
HCPVC, TAPVCの場合	104	172

コード表

EDR-N7 形 差圧伝送器

番号 形式	1 基準レンジ	2～12 付加仕様	内 容
EDR-N7			防水形、指示計なし、ダイアフラム材質：ハステロイC、接液部材質：SUS316、封入液：シリコンオイル 上側差圧導入口：Rc1/4、オーバルフランジなし。 標準コードの調整レンジは0～基準レンジです。
	800		
	8000		
	40000		
	100000		
	H800		
	H8000		
	H40000		HART 通信仕様
	H100000		
		☐ ☐ ☐	下表の付加仕様のコードから選んで必要なコードのみ記入してください。

付加仕様

番号	項 目	コード	内 容
2	調整レンジ	C()	()内に調整レンジ、単位符号記入
		CDH()	高圧側の圧力測定仕様の場合は () 内に差圧および圧力調整レンジ、単位符号記入(差圧/圧力の順で記入)
		CDL()	低圧側の圧力測定仕様の場合は () 内に差圧および圧力調整レンジ、単位符号記入(差圧/圧力の順で記入)
3	構 造	XC	耐圧防塵形
		FM	防腐蝕形
4	指 示 計	W	デジタル指示計付(表示0～100%)
		MI()	デジタル指示計付、表示直読表示 () 内に表示目盛、単位符号記入 (CD付をご指定の場合は圧力範囲もご指定ください)
5	材 質	316L316	ダイアフラム：SUS316L 本体接液部：SUS316
		316L	ダイアフラム：SUS316L 本体接液部：SUS316L
		HC316L	ダイアフラム：ハステロイC 本体接液部：SUS316L
		HC	ダイアフラム：ハステロイC 本体接液部：ハステロイC 差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		HCPVC	ダイアフラム：ハステロイC 本体接液部：硬質塩化ビニール 差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		TA316	ダイアフラム：タンタル 本体接液部：SUS316
		TA316L	ダイアフラム：タンタル 本体接液部：SUS316L
		TA	ダイアフラム：タンタル 本体接液部：タンタル フランジタイプ 差耐圧防塵形は不可 差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		TAPVC	ダイアフラム：タンタル 本体接液部：硬質塩化ビニール 差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		AU316	ダイアフラム：SUS316Lに金めっき 本体接液部：SUS316
6	封 入 液	F0	空っ素オイル
		100CS	サニタリ用シリコンオイル
7	禁 油	NL	禁油仕上げ
		NLW	禁油禁水仕上げ
8	差圧導入口	R2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/2
		R4	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/4
		N2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 1/2NPT
		N4	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 1/4NPT
		S2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 15Aパイプ溶接
		PV4	上側差圧導入口 オーバルフランジなし Rc1/4(側面取出し)材質コードHC、HCPVC、TA、TAPVCの場合指定
		B0	下側差圧導入口 オーバルフランジなし
		BR2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/2
		BR4	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/4
		BN2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 NPT1/2
		BN4	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 NPT1/4
		BS2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 15Aパイプ溶接
		BPV4	下側差圧導入口 オーバルフランジなし Rc1/4(側面取出し)材質コードHC、HCPVC、TA、TAPVCの場合指定
9	リブレース金具	EDR7()	75、81、85シリーズをリブレースの場合 既形式()に記入
		EDR75M	EDR-75Mをリブレースの場合
		RD71	EDR-71をリブレースの場合
		RD11・100()	11、22、31シリーズ、FPR-7のX-MV-100と接続するリブレースの場合(既形式、製造年記入)
		RD11L・100()	11L、22L、31Lシリーズ、FPR-7LのX-MV-100と接続するリブレースの場合(既形式、製造年記入)
		RD11M・100()	11M、22M、31MシリーズのX-MV-100と接続するリブレースの場合(既形式、製造年記入)
10	スチーム ジャケット	ST	スチームジャケット付き ＊接続温度が120℃以下(防塵形は100℃以下)になるようスチーム温度を設定してください。
		STP	スチームジャケット付き、ドレンバントブラダ保温形 ＊接続温度が120℃以下(防塵形は100℃以下)になるようスチーム温度を設定してください。
		P	ドレンバントブラダ保温形
11	接液条件	V	真空用

注) ダイアフラム材質は耐食性を考慮して選定してください。

ハステロイC は配管が亜鉛めっき銅管の場合や水質等により水素透過が発生し出力シフト、ダイアフラム変形を起こすことがあります。耐食性に問題がない時は水素透過率の小さい SUS316L を選定してください。

EDR-N7E 形 差圧伝送器(高精度タイプ)

番号	1	2～12	
形式	基準レンジ	付加仕様	内 容
EDR-N7E			防水形、指示計なし、ダイアフラム材質：ハステロイC、接液部材質：SUS316、封入液：シリコンオイル
	800		上側差圧導入口：Rc1/4、オーバルフランジなし。
	8000		標準コードの調整レンジは0～基準レンジです。
	40000		
	H800		
	H8000		HART 通信仕様
	H40000		
－□－□			下表の付加仕様のコードから選んで必要なコードのみ記入してください。

付加仕様

番号	項 目	コード	内 容
2	調整レンジ	C()	()内に調整レンジ、単位符号記入
		CDH()	高圧側の圧力測定仕様の場合は()内に差圧および圧力調整レンジ、単位符号記入(差圧/圧力の順で記入)
		CDL()	低圧側の圧力測定仕様の場合は()内に差圧および圧力調整レンジ、単位符号記入(差圧/圧力の順で記入)
3	構 造	XC	耐圧防爆形
		FM	FM防爆形
4	指 示 計	M	デジタル指示計付 (表示0～100%)
		MJ()	デジタル指示計付、表示値表示()内に表示目盛、単位符号記入 (CD□をご指定の場合は圧力範囲もご指定ください)
5	材 質	316L316	ダイアフラム:SUS316L 本体接液部:SUS316
		316L	ダイアフラム:SUS316L 本体接液部:SUS316L
		HC316L	ダイアフラム:ハステロイC 本体接液部:SUS316L
		AU316	ダイアフラム:SUS316Lに金めっき 本体接液部:SUS316
6	封 入 液	F9	フルードオイル
		100CS	サニタリ用シリコンオイル
7	禁 油	NL	禁油仕上げ
		NLW	禁油禁水仕上げ
8	差圧導入口	R2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/2
		R4	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/4
		N2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 1/2NPT
		N4	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 1/4NPT
		S2	上側差圧導入口 オーバルフランジ付 15Aパイプ素込溶接
		B0	下側差圧導入口 オーバルフランジなし
		BR2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/2
		BR4	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 Rc1/4
		BN2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 NPT1/2
		BN4	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 NPT1/4
		BS2	下側差圧導入口 オーバルフランジ付 15Aパイプ素込溶接
9	リブレース金具	RD78()	75、81、85シリーズをリブレースの場合 既形式()に記入
		RD75M	EDR-75Mをリブレースの場合
		RD71	EDR-71をリブレースの場合
		RD11・100()	11、22、31シリーズ、FPR-7のX-MV-100と接続するリブレースの場合 (既形式、製造年記入)
		RD11・100()	11L、22L、31Lシリーズ、FPR-7LのX-MV-100と接続するリブレースの場合 (既形式、製造年記入)
10	スチーム ジャケット	RD11W・100()	11W、22W、31WシリーズのX-MV-100と接続するリブレースの場合 (既形式、製造年記入)
		ST	スチームジャケット付き ＊接続温度が120℃以下 (防爆形は100℃以下) になるようスチーム温度を設定してください。
		STP	スチームジャケット付き、ドレンパントプラグ保溫形 ＊接続温度が120℃以下 (防爆形は100℃以下) になるようスチーム温度を設定してください。
		P	ドレンパントプラグ保溫形
11	接液条件	V	真空用

注) ダイアフラム材質は耐食性を考慮して選定してください。
ハステロイCは配管が亜鉛めっき鋼管の場合や水質等により水素透過が発生し出力シフト、ダイアフラム変形を起こすことがあります。耐食性に問題がない時は水素透過率の小さい SUS316L を選定してください。

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- 改良のため外観及び仕様の一部を変更することがあります。